

1 若葉台・稲城コース

★ 初級 行程: 約8.8km



京王相模原線は、稲城駅から若葉台駅までの間、北側に広がる向陽台や若葉台などのニュータウンを見ながら丘陵の山裾を走ります。線路に沿うように三沢川が流れ、鶴川街道も並走しています。この南と北の丘陵には、畑、谷戸田や雑木林があちこちに残っています。南側には昭和50年代前半に整備された黒川東営農団地、薄葉谷戸、南山西部の里山と雑木林、北側にはホテルも観賞できる上谷戸親水公園のせせらぎ、稲城中央公園の雑木林…

このコースは、京王相模原線を縫うように南と北の丘陵に残る里地里山の風景を訪ねます。若葉台駅のホームの東端に立って南を望むと、丘陵の斜面に農地が広がっているのを見て取ることができます。黒川東営農団地です。まずは、そこを目指します。

南北の丘陵に残る里地里山の名残をたどって
 若葉台から稲城へ



2 3 黒川東営農団地
 昭和50年代前半に完成したこの営農団地は約18ha(東京ドーム4個分)。野菜のほかナシやカキ、クリなどもつくられている。眺望が素晴らしく富士山も望める。

4 学園通り脇の田んぼ
 営農団地を下り京王相模原線をくぐると左手に田畑が広がり、学園通りが出る。このあたりは谷戸地形で水田が続く。



5 若葉台のケヤキ並木
 若葉台駅の北側にはニュータウンが広がる。鶴川街道を渡り、若葉台公園入口信号までケヤキ並木を行く。



6 若葉台公園
 芝生がのびやかに広がり、とくに円形の花の段々広場は魅力的。その広場の下にこれから行く上谷戸がのびる。



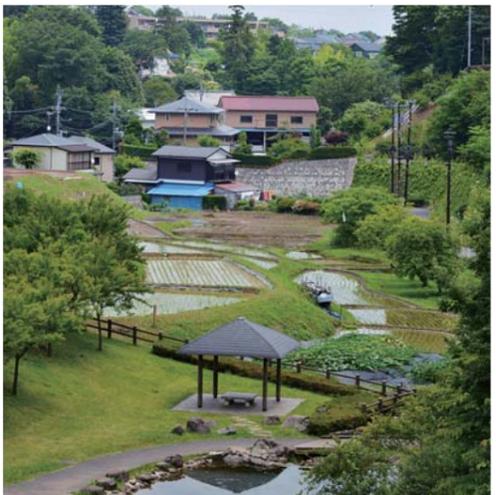
1 下村橋先のナシ畑
 若葉台駅南の交差点先約50mを左折し、三沢川を渡ると右手にナシ畑がある。黒川東営農団地は左手の竹林の先を上る。



9 水車小屋と上谷戸大橋
 上谷戸親水公園の最下流部。このあたりには小型のハヤブサ類のチョウゲンボウが棲み、いつもカメラを携えた愛鳥家の姿がある。



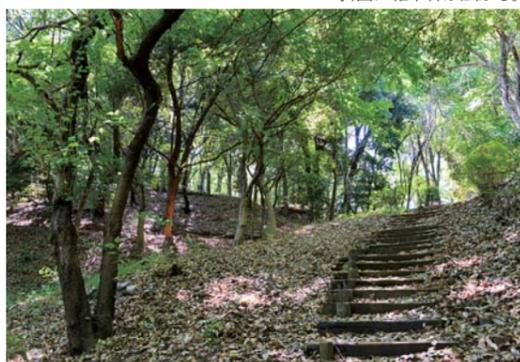
7 上谷戸の田んぼ
 せせらぎを中心に心地よい親水空間が続く。ここでは地元の人々の手でホテルが飼育され、毎年6月初旬頃に観賞会が催される。



13 三沢川
 鶴川街道を右折して三沢川を渡る。その先に京王相模原線のガードがあり、それをくぐると薄葉谷戸。



12 公園下の棚田
 公園の雑木林を下ると東側に棚田があり一番下の園路から眺められる。棚田の下は鶴川街道である。



11 稲城中央公園
 この公園へは体育館手前の駐車場から入るとよい。高台に体育館とグラウンドがあり、東側の斜面に雑木林が広がる。

10 長峰小学校南交差点下の畑
 上谷戸通りが鶴川街道と交わる手前で左へ道を取り、北へ上る。右手に畑を見て上り切るとこの光景が広がる。



17 雑木林の道
 畑の東側には雑木林が続く。二股道を左へ上がり雑木林を進み、山中の畑の手前を左へ下り、さらに畑の中の道を進む。



15 旧水路脇の道
 薄葉谷戸から戻り三沢川の右岸を下る。旧水路に出会ったら水田との間の道を行き、京王相模原線をくぐり南山を目指す。

14 薄葉谷戸
 谷戸入口の水田はすぐに途切れるが、道なりに進むと再び田畑が現れる。今も農業が営まれ、昔ながらの谷戸風景が残る。



18 妙見宮境内からの眺望
 雑木林の道を下ると妙見宮に入る。妙見宮は毎年8月7日にカヤで100~150mの大蛇をよる「蛇より行事」で知られる。境内からは新宿副都心が望める。



16 南山西部の里山
 稲城駅の南側に連なる山は南山と呼ばれる丘陵の西部にあたる。急な坂道を上ると左手に雑木林を背景に懐かしい里山風景が広がり眺望も素晴らしい。



19 妙見寺
 妙見宮から石段を下ったところにあるのが妙見寺で、今では全国でも珍しい神仏混淆(しんぶつこんごう)の寺院。参道から京王相模原線をくぐり右へ行くと稲城駅である。

Study
稲城とナシ
 このコースでは、何度かナシ畑を目にする。稲城市では江戸時代からナシがつくられ、現在も都内のナシ栽培の約4割を占め断トツの第1位である。栽培の中心は稲城駅の東から多摩川にかけてで、京王相模原線の車窓にもナシ畑が広がる。ちなみに、稲城市はブドウ栽培でも都内第1位で東京のフルーツタウンでもある。

H GOAL